

# 演奏者略歴 50音順

## 岡本 正之 (おかもと まさゆき) ファゴット

1989年東京芸術大学卒業。同年、東京都交響楽団へ入団。第6回日本管打楽器コンクールファゴット部門第一位、および大賞受賞。91~92年、DAAD奨学生としてハノーヴァーにて研修。96~97年にはアフィニス文化財団の派遣研修生としてシトゥットガルトにて研鑽をつんだ。2003年東京オペラシティリサイタルホールにて『B→Cリサイタル』。2008年大野和士/指揮、東京都交響楽団の演奏会『作曲家の肖像〜リヒャルト・シュトラウス』にて「クラリネットとファゴットののためのデュエット・コンチェルティノ」のソリストをつとめる。93年ミネアポリス、2009年バーミンガムでのIDRS国際ダブルリード協会のカンファレンスに参加。2011年ミラン・トルコヴィッチ/指揮、東京都交響楽団の演奏会『作曲家の肖像〜モーツァルト』にて「ファゴット協奏曲」のソリストをつとめる。現在、東京都交響楽団ファゴット首席奏者としての活動を中心に、霧島国際音楽祭、木曾音楽祭などにも参加。桐朋学園大学特任教授。ファゴットを森田格、菅原暁、岡崎耕治、クラウス・トゥーネマン、セルジオ・アツツォーリニの各氏に師事。

## 岸上 穰 (きしがみ じょう) ホルン

1985年浜松に生まれる。12歳よりホルンを始め、京都市立音楽高校(現:京都市立京都堀川音楽高校)を経て、東京藝術大学を安宅賞、アカンサ音楽賞を受賞し卒業。讀賣新人演奏会に出演。第74回日本音楽コンクール入選。第80回同コンクール第2位。第23回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位。これまでに東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、藝大フィルハーモニア、Les Si cles、東京都交響楽団と共演。小澤征爾音楽塾VII・VIII、東京のオペラの森に参加。ラ・フォル・ジュルネ「熱狂の日」音楽祭2007・2008にソリストとして参加。2010年アフィニス夏の音楽祭に参加。京都芸術祭毎日新聞社賞受賞。ホルンを富成裕一、小山亮、森 陽子、守山 光三、西條 貴人、Esa Tapaniの各氏に師事。2008年よりフランクフルト音楽大学へ入学。同大学を首席で卒業。テトモルト国立歌劇場の研修生、ヴィースバーデン・ヘッセン州立歌劇場契約団員を経て、現在、東京都交響楽団団員、Travel Brass Quintet、Brass Ensemble ZERO、つの笛集団メンバー。

## 柳原 佑介 (やなぎはら ゆうすけ) フルート

9歳からフルートを始める。東京芸術大学卒業。1993年全国学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位。以降多数のコンクールに入賞。1998年には学内にて安宅賞受賞、日本フルートコンクール第3位、日本木管コンクール第1位、日本音楽コンクール第2位・松下賞受賞。日本フィルハーモニー交響楽団を経て現在東京都交響楽団首席奏者。洗足学園大学・武蔵野音楽大学非常勤講師。フルートを石橋正治、金昌国、P.マイゼンの各氏に師事。

## 山本 友重 (やまもと ともしげ) ヴァイオリン

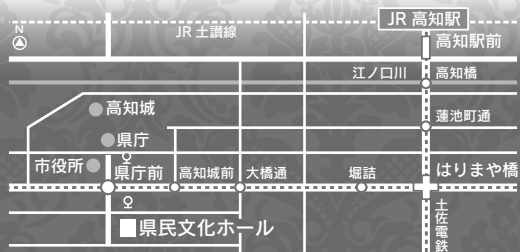
1969年名古屋生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て東京芸術大学音楽学部へ入学。第39回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第2位受賞。第10、11回沖縄ムービーミュージックキャンプに参加。第10回霧島音楽祭に参加、特別奨励賞受賞。イタリアのレジオ・エミリアで行われた、第2回パオロ・ボルチアーニ賞、国際弦楽四重奏コンクールに、すばる弦楽四重奏団として参加、第3位及び特別賞受賞。副賞としてフランス、パリの国際カルテット・フォーラムに招待され、シャンゼリゼ劇場で演奏し、好評を博す。松尾財団室内楽コンクール第1位受賞。東京国際音楽(民音)コンクール室内楽部門で、第2位受賞。大学在学中より、すばる弦楽四重奏団、アール・レスピラン、ジャパンチェンバーオーケストラ、フェスティバルソリスト、日本各地の音楽祭などでの室内楽的な活動に意欲を燃やす傍ら、数多くのオーケストラのゲストコンサートマスターを務めた後、若干22歳で東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団のコンサートマスターに就任。8年間に渡り重責を担って来たが、99年、退団。2000年からは、東京都交響楽団のコンサートマスターに就任、ここでの活躍も大いに期待されることである。またNHK FMリサイタルや、98年からの自主企画によるリサイタルをはじめ、ソリストとしても活動を展開させている一方、多数のアマチュアオーケストラやアンサンブルのトレーナーとしても評価が高い。これまでに、ヴァイオリンを大沢美木、北垣紀子、林茂子、景山誠治、田中千香子、ヨゼフ・スークの各氏に、室内楽を原田幸一郎、ヤン・バネンカ、スメタナS.Q.、ラサールS.Q.、アマテウスS.Q.の各氏に師事。現在上野学園非常勤講師。

## 横川 晴児 (よこかわ せいじ) クラリネット

1968年に渡仏、ジャック・ランスロ、ユリス・ドゥレクリューズ他に師事。ルーアン音楽院、パリ国立高等音楽院をともにブルミエ・プリを得て卒業後、フランス国内で演奏活動を行う。帰国後東京フィルハーモニー交響楽団を経て1986年にNHK交響楽団首席奏者に就任。ソリストとしても、N響定期公演はじめ国内外のオーケストラとたびたび共演。室内楽の分野では、国内外において数々の音楽祭・演奏会で著名なソリストたちと共演している。2001年にはブラームスのクラリネットソナタ集をリリース、「レコード芸術」誌では特選に選ばれ、同時に行ったりサイタルも話題となった。2002年からは軽井沢国際音楽祭で音楽監督を務めている。2009年NHK交響楽団より長年の功績に対して贈られる「有馬賞」を受賞。トゥーロン国際コンクール、ジュネーブ国際コンクール、デュティユ国際作曲コンクール、ニールセン国際コンクール、日本音楽コンクール等で審査員を務める。現在、国内外で後進の指導にあたるほか、指揮者としても活動している。国立音楽大学客員教授、ビュッフェ・クランボン社及びリコ・インターナショナル社専属デスター。

## 脇岡 総一 (わきおか そういち) オーボエ

広島市に生まれる。1972年東京芸術大学音楽学部卒業。その後、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団を経て、東京都交響楽団首席オーボエ奏者をつとめる。その間、1969年日本音楽コンクール入選、安宅賞受賞、卒業特別演奏会、NHK新人演奏会等に出演。1974年民音室内コンクール入選。1982年、文化庁海外派遣研修生として西ドイツ/ハンブルクにてW・リーバーマン氏に師事。1981年キングレコードより「メトロポリス木管五重奏団」のレコードが発売される。また、「東京ソリスト」[古典音楽協会]武満徹主催の「ミュージックトゥデイ」等を始めとする数々の演奏会に出演。さらに、「FMクラシックアワー」[午後のリサイタル]「クラシックオンステージ」等多くのテレビ・ラジオ音楽番組に出演。日本の第一線のプレーヤーを集めた「アウロラ チェンバー アンサンブル」を主宰して日本各地での演奏会、放送などを行う。また、ウィーン・トリオ、シカゴプロムジカ、M. クレメント (ob) 等 海外の演奏家との共演も数多く、1994年にはロリン・マゼール指揮のバイエルン放送交響楽団、ピンカス・ズッカーマン指揮のイングリッシュ チェンバーオーケストラに出演する。また、スーパーワールド オーケストラ・ジャパン ヴァルト・ソ オークストラ等のフェスティバルオーケストラにも多数出演する。“脇岡の音”と題するリサイタルシリーズやオーケストラとの共演を始めとする、独奏者としての数多くのソロ活動も精力的に行い、日本音楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール、日本クラシックコンクール全国大会等多くのコンクールの審査員もつとめている。2005年3月に東京都交響楽団を退団し、4月より高知大学教育学部教授に就任しフリーのオーボエ奏者としても活動をおこなっている。



【車、タクシー】高知自動車道 南国ICより約30分、高知ICより約20分  
高知駅より約20分  
高知龍馬空港より約40分  
高知駅行き 約40分: 「はりまや橋」下車 + 徒歩20分  
朝倉行き 約45分: 「県庁前」下車 + 徒歩数分  
【電車】高知駅より約20分 土佐電鉄路面電車  
「はりまや橋」乗り換え「県庁前」下車 + 徒歩数分

Kochi Prefectural Culture Hall  
**高知県民文化ホール**  
〒780-0870 高知市本町 4-3-30 TEL088-824-5321  
<http://kochi-bunkazaidan.or.jp/~hall/>